

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	私立学校施設耐震化（専修学校等）（復興関連事業）		担当部局庁	生涯学習政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～未定		担当課室	生涯学習推進課 専修学校教育振興室		生涯学習推進課長 早川俊章		
会計区分	東日本大震災復興特別会計（一般会計）		政策・施策名	政策目標6 私学の振興 施策目標6-1 特色ある教育研究を展開する私立学校の振興				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年7月29日東日本大震災復興本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	専門課程又は高等課程を置く学校法人又は準学校法人立の私立専修学校(以下、「専修学校」とする。)における危険建物の耐震補強等の防災機能の強化に要する経費の一部を補助することにより、生徒の活動の場である専修学校の安全性を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	専修学校における防災機能の強化として、耐震補強工事、非構造部材の耐震対策工事、備蓄倉庫・自家発電設備等の整備を行う場合、国がその経費の1/2以内(専修学校高等課程は1/3以内(地震による倒壊の危険性が高いものについては1/2以内))を補助する。 ※ 非構造部材の耐震対策工事、備蓄倉庫・自家発電設備等の整備については、平成24年度補正予算から補助対象化。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		(一般会計 108)	197 (一般会計 944)	-	562 (一般会計 31)	562 (一般会計 181)
		繰越し等		(一般会計 △397)	△299 (一般会計 △547)	197 (一般会計 944)		
		計		0	103 (一般会計 398)	759 (一般会計 975)	562 (一般会計 181)	
	執行額		0	101 (一般会計394)				
	執行率 (%)		-	97.6%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	私立専修学校施設耐震化率 ※ 本事業の実施により、耐震化等の一層の推進を図ることとしているが、専修学校からの申請に基づき支援するため、定量的目標を設定することは困難である。			【参考 実績】 %		75.9%	76.6%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助件数 ※ 平成24年度補正予算から新たに非構造部材の耐震対策、備蓄倉庫・自家発電等の防災機能強化が補助対象化し、整備内容がそれぞれ異なるため、見込み件数を設定することは困難である。			活動実績 (当初見込み) 件		3	4	-
単位当たり コスト	-			算出根拠	※ 各学校法人又は準学校法人により整備する内容が異なるため、単純に単位あたりのコストを算出することはなじまない。			
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求				
	私立学校振興費補助金 (専修学校)		562百万円 (一般会計 31百万円)	562百万円 (一般会計181百万円)				
				-				
				-				
				-				
	計		562百万円 (一般会計 31百万円)	562百万円 (一般会計181百万円)				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<p>本事業は、専修学校施設の耐震補強等の防災機能の強化を重点的に支援することにより、生徒の安全性を確保する事業であり、全国的に実施する必要があることから、国が実施するものである。</p> <p>支出先については、各学校法人からの事業申請書をもとに、申請内容及び補助要件との整合を確認して選定していることから、支出先の選定等は妥当であり、経費の使途等は真に必要なものに限定されている。</p> <p>喫緊の課題である専修学校施設の耐震補強等の防災機能の強化に対する支援であることから、申請内容及び補助要件との整合を確認した上で確実に実施している。本事業の実施により、専修学校施設の耐震化率が年々上昇し、地震発生時の安全性が確保されるなど、実効性の高い事業となっている。</p>		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>耐震補強等の防災機能の強化については、喫緊の課題であり、本事業により、重点的な支援を行うことが必要である。事業の推進にあたっては、専修学校の設置者の意向が重要な要素となるため、目標設定は困難であるものの、「私立学校施設防災機能強化集中支援プラン」(平成24年1月策定)を推進し、平成24年度補正予算においては更なる制度の充実を図ることにより、早期に耐震化が完了するよう努めている。今後も引き続き効率的な執行に努めるとともに、本事業のこれまでの成果等を踏まえ、より効果的・効率的な施策の推進に努める必要がある。</p>					
	外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、専門課程又は高等課程を置く専修学校における危険建物の耐震補強等の防災機能の強化に必要な経費の一部を補助し、専修学校の安全性を確保することを目的に平成23年度から実施している事業であり、事業評価に当たっては計画的な施設整備の推進の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 耐震補強等の防災機能の効果は喫緊の課題であり、平成24年度においては非構造部材の耐震対策工事、備蓄倉庫・自家発電設備等を補助対象化するなど、実効性の高い事業となるよう適切に見直しが行われているものと認められる。引き続き本事業の成果等を踏まえ、現行の事業内容を維持していくべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
「東日本大震災からの復興の基本方針」 http://www.reconstruction.go.jp/topics/110811kaitei.pdf						
「予算額・執行額」欄について 平成23年度の予算額については、工事に安全な工事を行うための周辺住民との調整や耐震設計の変更等に時間を要した等の理由により、全額を平成24年度に繰り越している。 なお、平成23年度の申請額が予算額を上回っていたため、私立学校振興費補助金(私立高等学校等)からの流用分289万円分も併せて24年度に繰り越している。また、平成24年度当初予算から102万円を私立学校振興費補助金(私立高等学校等)へ流用している。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	復興-0025	平成24年	0072

文部科学省
<495百万円>
※平成23年度からの繰越し分を含む

(内訳)
復興特別会計 101百万円
一般会計 394百万円

〔対象法人から提出を受けた申請書を精査の上、補助要件を満たすものについて、補助金を交付〕



【公募・補助】

A. 学校法人(全7法人)
<495百万円>

(内訳)
復興特別会計 101百万円
一般会計 394百万円

〔私立専修学校(専門課程又は高等課程)の防災機能強化のための耐震補強工事等を実施〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.学校法人 大和学園			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	工事費	350			
計		350	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人大和学園 京都栄養 医療専門学校	耐震補強工事	350	-	-
2	学校法人鈴木学園 中央歯科 衛生士調理製菓専門学校	耐震補強工事	61	-	-
3	学校法人三鈴学園 東海医療 技術専門学校	耐震補強工事	28	-	-
4	学校法人湘央学園 湘央生命 科学技術専門学校	耐震補強工事	24	-	-
5	学校法人湘央学園 湘央医学 技術専門学校	耐震補強工事	20	-	-
6	学校法人上田学園 上田安子 服飾専門学校	耐震補強工事	7	-	-
7	学校法人新潟高度情報学園 新潟高度情報専門学校	耐震補強工事	6	-	-

※支出先の選定に当たっては公募を実施